

# 姫路で見る 2020年8月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



この夏に見頃の木星と土星が  
ひととき明るく輝いています。  
2日と29日にはこの二つの  
惑星に月が近づくので、ぜひ  
三つの天体が仲良く並ぶ様子  
を見てみてください。

- 8/4 満月 
- 8/12 下弦 
- 8/19 新月 
- 8/26 上弦 



8月15日 21時の空  
月は書いていません

南の空の少し東よりに、夏の三大角が昇っています。夏の三大角の中で一番明るい星が、こと座の1等星のベガです。明るくて目立つ星なので、すぐに見つけることができるでしょう。ベガは七夕の物語の織姫星。では、織姫星のペアとなる彦星はどの星なのか、迷ったときは、はくちょう座を見つけるといいでしょう。はくちょう座は、漢字の十の文字のような星の並びになっています。くちばしを下に向けて、大きな翼を広げたはくちょうの姿のような形です。ちなみに、はくちょう座は、南半球で見ることでできる南十字星との対照で、北十字と呼ばれているんですよ。このはくちょう座のしっぽあたりの明るい星が、夏の三大角をつくる1等星のデネブです。デネブよりも明るく、ベガよりも暗い星が、七夕の物語の彦星、わし座の1等星のアルタイルになります。デネブは夏の三大角の中では一番暗い星です。織姫星と彦星に少し遠慮しているけれど、天の川の中で二人を見守るかのように輝いています。夏の宵に輝くきれいな星たちを、ぜひ見つけてみてください。